

2027年度（令和9年度）

外国人留学生入学試験要項

※令和8年7月22日 英語検定試験の利用可能スコアを訂正

◎試験当日は、この「入学試験要項」を必ず持参してください。

<一般型>

文 学 部	日本文学科 中国文学科 史 学 科 哲 学 科
-------	----------------------------------

神道文化学部	神道文化学科
--------	--------

法 学 部	法 律 学 科 (法律専攻)
-------	-------------------

経 済 学 部	経 済 学 科 経 営 学 科
---------	--------------------

人間開発学部	健康体育学科
--------	--------

観光まちづくり学部	観光まちづくり学科
-----------	-----------

<日本大学連合学力試験（JPUE）利用型>

経 済 学 部	経 済 学 科 経 営 学 科
観光まちづくり学部	観光まちづくり学科

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

総合企画部入学課

☎ 03-5466-0141

www.kokugakuin.ac.jp

大規模災害等、不測の事態により、やむを得ず、入学試験実施（出願要件・試験日程・試験内容等）について変更する可能性があります。変更が生じた場合は、大学ホームページにて随時公表いたしますので、出願にあたっては、必ず大学ホームページにて最新情報をご確認ください。また、出願開始後に変更が生じた場合は、当該出願者に対しEメールまたは郵送にて通知いたします。

入試情報に関する変更は、こちら（大学ホームページ）からご確認ください。



目 次

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	1
2. 募集学部・学科および人員	7
3. 出願資格・出願要件・入学要件	7
4. 入学試験日程	11
5. 受験から入学手続きまで	13
6. 選考方法	15
7. 受験上の配慮について	16
8. 書類について	17
9. 入学志願票記入例	21
10. 履歴書記入例	23
11. 入学検定料	24
12. 学費等納付金	25
13. 「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理について	25
14. 「こども性暴力防止法」施行に伴う教育実習の制限について	26
15. 合格者対象オンラインイベントについて	26

【出願にあたっての注意事項】

1. 出願資格・受付期間・試験科目等について、事前に熟読してください。
2. 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願する30日前までに必ず入学課にご相談ください。
詳細につきましては、P.16をご参照ください。

【提出書類の確認について】

調査書・推薦書・証明書等については、記載内容の確認のため、大学から発行元の団体・機関等へ連絡をさせていただく場合があります。

【個人情報の取り扱いについて】

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。出願書類等に記載された個人情報は、下記の利用目的の範囲内において利用し、本人の同意の無い第三者への提供はいたしません。

なお、取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は、学校法人國學院大學個人情報の保護に関する規程、ならびに國學院大學個人情報の保護に関する規程(<https://www.kokugakuin.ac.jp/about/efforts/p17>)に従い、適切に管理します。

利用目的	入学試験の実施および実施に伴う各種通知、入学手続きに関する諸連絡、入学予定者への各種案内の送付、本学 学校法人の國學院大學北海道短期大学部の案内書類送付 ※上記のほか、出願時に取得した情報（氏名、受験番号、生年月日、高等学校等コード、高等学校名、志願する入試制度、志望学部学科、調査書記載の学習成績の状況、検定・試験の成績）および入試成績情報を用いて、以下の分析等を行う場合があります。 (1) 高等学校・志望学部学科等、出願者の属性による入試成績状況の把握 (2) 入学後の成績や履修状況と照合・分析し、入試時の状況と入学後の学修状況との関連性を把握 (3) 卒業後の進路情報と照合・分析し、入試時の状況と進路状況の関連性を把握 (4) 入学手続き時に取得する情報（入学手続きの有無、入学辞退時の進学先）と照合・分析し、本学出願者の進学動向を把握
データ項目	(1) 入学志願票に記入もしくは添付された項目 氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、生年月日、国籍、出身学校（高等学校等・大学・短期大学（学士入学・編入学のみ））および卒業（見込）年月、志願する入試制度・学科（専攻）、大学入学共通テスト試験成績請求No、日本留学試験受験番号、写真 (2) 調査書、高等学校卒業程度認定試験合格証明書、各種検定・試験の合格証明書・成績（スコア）証明書等に記載されている項目 住所、氏名、生年月日、性別、学習成績の状況、担任による評価、検定・試験の成績および受検年月日
保管期間	10年間

國學院大學における個人情報の利用目的については下記の URL を参照してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/privacy/p2>

國學院大學は、外国人で大学において教育を受ける目的で入国し、本学に入学を希望する者を対象とし、以下の内容で入学者を募集します。入学後は、他の学生と同じ条件のもとで所定の課程を修めることになります。講義はすべて日本語で行われますので、十分な日本語能力が必要です。なお、入学時期は令和9年（2027年）4月です。学年度は4月に始まり、翌年3月に終わります。

1. アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

※アドミッション・ポリシー（以下、「AP」）については、大学ホームページでもご確認ください。

文学部

【日本文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本の文学・言語・文化を研究したいという意欲を持ち、古典語を含む日本語と日本文化の基礎的な学力を備えている者。
- ・自ら問題を発見し、資料を収集・整理・分析して自分の考えをまとめ、文章で表現できる能力と姿勢を身につける意欲を持つ者。
- ・日本の文学・言語・文化の研究を通して新たな文化創造に参画し、社会に積極的に働きかけ貢献できる者。

◎入学者選考の観点

- （AP1）国語（古文・漢文を含む）を中心に、日本文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- （AP2）自らの知識・技能に基づいて問題を発見し、物事を論理的・客観的に考え整理・分析する力と、それを自らの言葉で表現する能力があるか。〈思考力・判断力・表現力〉
- （AP3）日本の文学・言語・文化の学修・研究に強い意欲を持ち、将来において社会に発信する主体となるために、積極的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書			◎	日本語小論文で日本文学科での学びに対応しうる学力および日本語運用能力を有しているかを、面接試験で進学への意欲があるかを確かめます。
日本語小論文	◎	○		
面接試験	○		◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を含む）」「古典探究」「文学国語」およびそれに相当する科目を履修していることが望まれます。

【中国文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本における中国古典の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・日本における中国近現代文学の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・中国語の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・中国文化の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・教職を目指しての専門分野の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。

◎入学者選考の観点

- （AP1）国語（古文・漢文を含む）を中心に、中国文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- （AP2）知識・技能に基づいて、論理的に考え、自主的に判断し、それを正確に表現する能力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- （AP3）中国の文学や文化に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書		○	◎	中国文学科での学びに対応しうる学力および日本語運用能力を有し、また、日本における中国古典の学修・研究に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする者を受け入れます。
日本語小論文	◎	○		
面接試験	○		◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに、「言語文化」「古典探究」で古文・漢文の基礎をしっかりと身につけ、「歴史総合」および「世界史探究」では、特に中国の歴史・文化とわが国との関係について、十分な知識を身につけていることが望まれます。

【史学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本や世界の歴史に関心を持ち、さらに専門的な知識を学んで理解を深めたい者。
- ・歴史資料の調査や研究方法を学び、歴史研究の発信や文化財の保護・活用にかかわりたいという意欲がある者。
- ・歴史上の諸問題に関心を持ち、さまざまな価値観を持つ人々と協力しながら、新しい社会を創造していこうとする意志を持つ者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 地理歴史、国語、英語を中心に、史学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 物事を論理的・客観的に考える力があり、それらを自分の言葉で発信する能力があるか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観（歴史地理）分野の学修・研究に強い関心を持ち、かつ主体的に学ぶ姿勢を備えているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書		○	◎	日本語の駆使能力を有し、本学科での学修に強い関心を持つ外国人留学生を受け入れます。
日本語小論文	○	◎		
面接試験			◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」から一つ以上を学んでおくことが望まれます。さらに「現代の国語」「言語文化（古文・漢文を含む）」「古典探究」「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」およびそれに相当する教科について、基礎学力を身につけておくことが望まれます。

【哲学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する者。
- ・哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる者。
- ・文献を読解し、渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 現代文、英語を中心に、哲学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を習得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 自分の知識・技能に基づいて、論理的に考え、自ら判断し、それを表現する能力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 哲学（哲学・倫理学や美学・芸術学分野）に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書		○	◎	外国籍であり、日本留学試験で所定の成績を修め、かつ哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
日本語小論文	○	◎		
面接試験	○	○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「現代の国語」「言語文化（近代以降の文章）」「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を身につけ、さらに「倫理」「公共」「政治経済」「世界史探究」「日本史探究」「地理探究」「美術Ⅰ」「音楽Ⅰ」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」およびそれに相当する教科を一つ以上履修していることが望まれます。

神道文化学部

【神道文化学科】

◎求める人材、期待される入学者像

國學院大學神道文化学部は、神道を中心とする日本文化への高い関心と、国内外の宗教文化を広く学ぼうとする意欲とを持ち、宗教・文化の継承者として、人々の共存や社会の発展に寄与しようとする人材を受け入れます。具体的には、次のような意欲・意志を持って、学びの成果を社会に活かそうとしている人材を求めています。

- (1) 神道の歴史・思想を学ぶ意欲を持つ者
- (2) 神道の社会的実践・社会貢献について学ぶ意欲を持つ者
- (3) 日本の伝統文化を深く学ぶ意欲を持つ者
- (4) 世界の宗教文化を広く学ぶ意欲を持つ者
- (5) 神社や神道系宗教団体の後継者として専門的な学びを志す者
- (6) 現代社会の文化と宗教との関係について広く学ぶ意欲を持つ者

◎入学者選考の観点

人材受け入れのため、次の観点から受験生を選考します。

- (AP1) 神道を中心とする日本文化や国内外の宗教文化（以下「神道文化・宗教文化」）に関わる授業を履修するために必要となる高等学校卒業相当の知識と文章表現のための技能を身につけているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 他者の考えを的確に理解し、自らの考えを理論的かつ簡潔にまとめ、ことばで正確に表現できる能力を有しているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 神道文化・宗教文化を幅広く学ぼうとする意欲を持っているか。また、神道文化・宗教文化の学びの成果を活かして、社会への貢献を目指す意志を持っているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書		○	◎	神道文化学部での学修に必要な総合的な学力を持つ受験生を選考します。面接試験・志望理由書等では、主に神道文化・宗教文化を学ぶ態度を問います。小論文試験では、主に思考力・表現力を問います。
活動レポート		○	◎	
日本語小論文試験	○	◎		
面接試験		○	◎	

◎入学までに身に付けるべき教科・科目

神道文化学部に入学者学生には、入学後の教育内容との関係上、「国語」「地理歴史」「公民」「外国語（英語）」の学習を求めます。

法学部

【法律学科（法律専攻）】

法学部は、法律学・政治学に関する知識・理論を理解し、これらを活用して価値観の多様化する現代社会に主体的に参画し、社会の様々な分野で活躍できる人間を育成します。このため本学部は、本学部で法律学・政治学の研鑽に努めることに強い意欲を有し、本学部の教育課程を通じて培った専門的知識や能力を活かして、社会に主体的に参画したいと考える学生を受け入れます。

◎求める人材、期待される入学者像

法律専攻では、とくに次のような人材を求めています。

- ・法や政治に関心を有し、社会の様々な分野で活躍したいという意欲がある者

◎入学者選考の観点

- (AP1) 本学部で学ぶ分野に関連する教科・科目について、高等学校卒業程度の基礎学力を備える者〈知識・技能〉
- (AP2) 社会的な事象に対して問題意識を持ち、情報を収集・整理・分析し、論理的に考え、自分の考えを表現するための基礎的な力を持つ者〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 教科外の活動に取り組み、その中でコミュニケーション能力などを培ってきた者〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
活動レポート			○	出願資格・出願要件を満たす外国籍の者で、本学部が課す試験において所定の成績を修め、かつ法律学、政治学の勉強に積極的・自発的に取り組み、学ぶ意欲がある者を選考します。
日本語小論文		○		
面接試験		○	○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学後の教育内容との関係で、本学部の入学者には、入学までに、「国語」「外国語」「地理歴史」「公民」、基礎的な「数学」、基礎的な「理科」の学習を求めます。

経済学部

◎求める人材、期待される入学者像

経済学部は、経済と経営に関する教育を主軸に、主体的に人生を切り拓き、自ら選んだ分野で社会に貢献できる人材を育成します。このことを踏まえて本学部では、次の能力・資質・態度に優れた者を受け入れます。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 「英語」「国語」「数学」「地理歴史」「公民」を中心に、経済学部で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を備える者。〈知識・技能〉
- (AP2) 各自の問題関心に基づき、情報を収集・分析し、論理的に考え、自らの主張について根拠を示しながら表現できる能力を持つ者。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 他者と積極的に交流し、新しい知識や経験に対して主体的に学修する強い意欲を持つ者。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
エントリーシート			○	外国籍を有しかつ一定の日本語能力を有する者の中から、本学部・学科のアドミッション・ポリシー（AP）を理解した上で、本学部が課す試験において所定の成績を修めた者を受け入れます。
活動レポート			○	
日本留学試験の成績	◎			
総合問題試験	◎	◎		
面接試験	◎	○	◎	

(AP1) 知識・技能

(AP2) 思考力・判断力・表現力

(AP3) 主体性・意欲・志向性

◎入学までに身につけるべき教科・科目

「外国語」「政治・経済」「歴史総合」「地理総合」「数学」

【経済学科】

経済学科は、日本と世界の経済に関心と学修意欲を持ち、将来、企業や公務員を含むさまざまな分野で個性豊かに活躍することを目標とする、以下のような人材を求めています。

- ・経済理論を真摯に学び、仮説を立て、データを駆使して経済問題を分析したい者。
- ・数学的思考力を経済学の学修に生かし、向上させたい者。
- ・歴史的なアプローチにより、現代の経済問題を把握し、また分析したい者。
- ・現地調査の能力を高めて、地域経済の実態を分析し、より良いあり方を提示したい者。
- ・日本経済の発展要因と課題を理解し、将来に向けた政策を考察したい者。
- ・グローバルな視点で日本や地域の経済を意識しながら、世界経済の現状と課題を考察したい者。

【経営学科】

経営学科は、企業の経営・会計に関心と学修意欲を持ち、市場・組織・戦略に関する学習・研究を通じて、以下のような能力を磨き、将来社会で活躍できる人材を求めています。

- ・実践力と経営スキルを磨いて、企業などの組織の中で、ビジネスリーダーとして活躍したい者。
- ・創造力と課題解決力を磨いて、新たなビジネスに挑戦する企業経営者、起業家、事業承継者などとして活躍したい者。
- ・分析力と論理的思考力を磨いて、会計士、税理士、コンサルタントなどとして、あるいは金融にかかわる業務で活躍したい者。

人間開発学部

人間開発学部では、自らの資質・能力の向上と人間力育成を求めるとともに、教育者・指導者に強い志向性を有することが求められます。そのための基礎学力を持ち、自ら学ぼうとする学習意欲を保持し、十分なコミュニケーション力を有してそれをより高めようとする学生を受け入れます。

心身の発達に関する教養を総合的に身につけていくため、幅広い分野に関心を持って学んできており、さらに、今後の学生生活・卒業後の進路について展望を持っている学生を受け入れます。

◎求める人材、期待される入学者像

【健康体育学科】

健康体育学科では、身体運動や身体諸機能への関心と理解があり、健康の維持増進のあり方と多様なスポーツに関する専門的な知識や技能の修得を目指して、様々なライフステージでの健康・体育分野への寄与を志す意欲の高い学生を受け入れます。

◎入学者選考の観点

(AP1) 知識・技能

(AP2) 思考力・判断力・表現力

(AP3) 主体性・意欲・志向性

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書		○	◎	健康体育学科での学びに対応しうる学力および日本語運用能力を有し、また、健康や体育・スポーツについての学修・研究に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わろうとする者を受け入れます。
活動レポート		○	◎	
日本語小論文試験	○	◎		
面接試験		○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

教師や指導者になるためには、幅広い分野に関心を持って学ぶ姿勢が必要です。そのための基本的な能力は言語力であり、「国語」や「外国語」の修得はもちろんのこと、「数学」や「理科」など得意な教科・科目があればさらに望ましいです。

日常生活の中において学習する習慣をつけていることが大切であり、本学部で学修する上で、高校での修学以外に、次にあげるいずれかの能力検定試験相当の学力をもつことが望まれます。

- ・日本漢字能力検定：準2級以上
- ・日本語検定：3級以上
- ・実用英語技能検定：準2級以上

- ・歴史能力検定（世界史または日本史）：３級以上
- ・実用数学技能検定：準２級以上
- ・理検STEP：２級以上など、高校中級以上のレベル

観光まちづくり学部

【観光まちづくり学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・観光・交流を通じた持続可能な地域の形成や振興に関する学問的な基礎を学びたいという意欲がある者。
- ・上記の学問的な基礎をもとに、地域社会の再生、活性化及びまちづくりに貢献したいという意欲がある者。
- ・既存分野の壁を越えて能動的に学ぶ向上心を保持し、積極的に地域に働きかけようという意欲がある者。

◎入学者選考の観点

（AP1）本学部で学ぶ分野に関連する教科・科目について、高等学校卒業程度の基礎学力を備えているか。
〈知識・技能〉

（AP2）地域社会やその持続可能性に対して問題意識を持ち、論理的に考え、自分の考えを表現するための基礎的な力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉

（AP3）自身の興味・関心にしたいがい、主体的に活動に取り組み、またはその成果について第三者からの評価を得ているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
志望理由書		◎	○	観光まちづくり学部での学修に必要な能力・資質と意欲を持つ受験生で、外国籍であり、日本の高等学校卒業相当の学力を持つ者を、第１次選考（書類選考）、第２次選考（面接試験）の２段階で総合的に選考します。
活動レポート		○	◎	
日本語小論文	○	○		
面接試験		◎	○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

「国語」「数学」「外国語（「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」を中心とした基礎学力を前提に、「地理歴史」「公民」「理科」「情報」の中から幅広く学習していること。

2. 募集学部・学科および人員

学部	学 科	専 攻	募集人員	修業年限
文 学 部	日 本 文 学 科		8 名	4 年
	中 国 文 学 科		1 名	
	史 学 科		5 名	
	哲 学 科		2 名	
神道文化学部	神道文化学科		5 名	
法 学 部	法 律 学 科	法律専攻	4 名	
経 済 学 部	経 済 学 科		5 名	
	経 営 学 科		5 名	
人間開発学部	健康体育学科		3 名	
観光まちづくり学部	観光まちづくり学科		14 名	

※出願状況および試験結果等により、合格者が募集人員を下回る場合があります。

※経済学部・観光まちづくり学部の募集人員は、一般型と日本大学連合学力試験（JPUE）利用型の合算です。

3. 出願資格・出願要件・入学要件

【出願資格】

以下の①と②の両方に該当する者。

- ①外国籍の者。かつ、「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格を有する者、または入学時までに「留学」の在留資格を取得見込みの者。
- ②次のa～dのいずれかに該当する者。
 - a 外国において、12年以上の学校教育課程を修了し、その国において大学入学資格を有する者。12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣により指定された準備教育課程または研修施設の課程を修了した者、もしくは令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者。
 - b 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者で、令和9（2027）年4月1日現在で満18歳以上の者。12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣により指定された準備教育課程または研修施設の課程を修了した者、もしくは令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者。
 - c 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程（文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程※）を修了した者、または令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者。
※令和8（2026）年7月1日現在、ウクライナ、ウズベキスタン共和国、カザフスタン共和国、スーダン共和国、ベラルーシ共和国、ペルー共和国、ミャンマー連邦共和国、ロシア連邦のうち文部科学大臣が指定した学校の課程
 - d 外国において、国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格のいずれかの資格を取得した者。

【出願に関する注意点】

- ・「留学」の在留資格を出願時点では有していない者は、本学入学者選抜に合格し、所定の入学手続を完了後、令和9（2027）年 3 月 31 日までに「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格を取得してください。
- ・「留学」の在留資格取得の申請が不許可になった場合は、入学は認められません。
- ・学校教育課程のうち、日本の教育制度に基づく学校での在籍期間が含まれている者、日本国内に所在する外国人学校に就学した者の出願は認められません。

【出願要件】

＜一般型＞

文学部（日本文学科除く）・神道文化学部

以下の要件を満たす者。

独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和7（2025）年度（6月・11月）または令和8（2026）年度（6月）の「日本留学試験（日本語）」の得点が230点以上の者。記述問題の得点は含まない。

法学部

以下のいずれかの要件を満たす者。

- ①独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和7（2025）年度（6月・11月）または令和8（2026）年度（6月）の「日本留学試験（日本語）」の得点が230点以上の者。記述問題の得点は含まない。
- ②独立行政法人国際交流基金・公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する令和7（2025）年度（7月・12月）または令和8（2026）年度（7月）の「日本語能力試験」でレベルN1またはN2と認定された者。
- ③学校法人駿河台学園が運営する令和7（2025）年度の「日本語能力評価試験」もしくは令和8（2026）年度（第87回から91回まで）の「駿台日本語能力試験」のスコアが600点以上の者。

経済学部

以下の要件を満たす者。

外部英語検定試験でCEFRのA2以上のスコアを持つ者（P.9参照）。

＜日本大学連合学力試験（JPUE）利用型＞

以下の要件をすべて満たす者。

- ①「一般財団法人 日中亜細亜教育医療文化交流機構（JCAEMCE）」が実施する「日本大学連合学力試験（JPUE）」において筆記試験（2025年12月実施）および本学の面接（2025年12月実施）による総合評価で一次判定（受験資格事前審査）を通過した者（財団から一次判定通過のOffer通知を受領した者）。
- ②一次判定通過後、JCAEMCE事務局が実施する留学前準備教育を受講し、財団が発行する「日本留学前準備教育修了証」または「日本留学前準備教育（履修見込み）証明書」を取得すること。
- ③本学の外国人留学生入学試験までに、日本語コミュニケーション能力測定試験（JLCAT）の4技能のうち、認識能力（「listening」「reading」の2技能スコア）での「B2」以上を取得しており、かつ「speaking」「writing」を受験していること。

【入学要件】

＜一般型＞

文学部（日本文学科）、人間開発学部

以下の要件を満たす者。

独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和7（2025）年度（6月・11月）または令和8（2026）年度（6月・11月）の「日本留学試験（日本語）」の得点が230点以上の者。記述問題の得点は含まない。

経済学部

以下①と②の両方に該当する者。

- ①独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和7（2025）年度（6月・11月）または、令和8（2026）年度（6月・11月）の「日本留学試験（日本語）」の得点が230点以上の者（記述問題の得点は含まない）、または令和8（2026）年度（7月）の「日本語能力試験」でN1またはN2と認定された者。
- ②独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和7（2025）年度（6月・11月）または令和8（2026）年度（6月・11月）の「日本留学試験（総合科目・数学：コース1または2）」を受験していること。

観光まちづくり学部

以下の①と②の両方に該当する者。

- ①独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和7（2025）年度（6月・11月）または令和8（2026）年度（6月・11月）の「日本留学試験（日本語）」の得点が270点以上の者（記述問題の得点は含まない）。または令和7（2025）年度（7月・12月）もしくは令和8（2026）年度（7月）の「日本語能力試験」でN1と認定された者。
- ②英語検定試験でCEFRのA2以上のスコアを持つ者。または独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和7（2025）年度（6月・11月）もしくは令和8（2026）年度（6月・11月）の「日本留学試験（数学：コース1または2のいずれか）」を受験していること。

※入学要件を満たす見込みで本入学試験を受験して合格し、入学手続きをした者が、各学部・学科の入学要件を満たさなかった場合、入学を許可しません。その場合、入学金を除く授業料等納付金（振込手数料を除いた金額）を返還します。

【併願について】

- ・本制度では、複数の学部・学科・専攻に出願することが可能です。
- ※ただし、試験日が同一の学科・専攻を受験することはできません。
- ・複数の学部・学科・専攻に出願する場合、出願書類は志望学科・専攻ごとに作成し、提出する必要があります。
- ・入学検定料は1学科・専攻につき35,000円で併願に伴う減免はありません。

英語検定試験のスコア・級数について

CEFRの基準値は、以下のスコアを参考値とします。特に明記のない限り、スコア・級は令和6年4月1日以降に取得したものを有効とします。

CEFR ※1	各検定のスコア								
	実用英語技能検定 (英検) ※2	TOEIC® L&R およびS&W ※3	GTEC ※4	TEAP (R/L+W/S) ※5	TEAP CBT ※5	ケンブリッジ 英語検定 ※6	TOEFL iBT® ※7 新形式スコア	TOEFL iBT® ※7 旧形式スコア	IELTS ※7 (アカデミック・ モジュール)
C2						230 200	6	120 114	9.0 8.5
C1	3299 2600 (3299) 各級CEFR 算出範囲 1級 (2599)	1390 1305	1400 1350	400 375	800	199 180	5	113 95	8.0 7.0
B2	2599 2300 (2599) 準1級 (2304)	1300 1095	1349 1180	374 309	795 600	179 160	4	94 72	6.5 5.5
B1	2299 1950 (2299) 2級 (1980)	1090 790	1179 930	308 225	595 420	159 140	3	71 42	5.0 4.0
A2	1949 1700 (1949) 準2級 (1728)	785 385	929 680	224 135	415 235	139 120			
A1	1699 1400 (1699) 3級 (1550)	380 200	679 260			119 100			

※1 各検定試験の証明書に記載される、4技能（Reading, Listening, Writing, Speaking）総合でのCEFRレベルを指します。4技能総合CEFRが判定されていない場合は、スコアの利用はできません。

※2 従来型・新方式（S-CBT、S-Interview）いずれも可。上表に示すCEFRレベルを満たしていれば、可否は問いません。ただし、取得したCSEスコアが受験級においてCEFR算出外となる場合は、スコアの利用はできません。

※3 TOEIC®はL&RおよびS&W両試験の受験およびスコアが必須となります。また、TOEIC IPは不可とします。

※4 GTECは受験年度により、同一のスコアでも証明書記載のCEFRレベルが異なる場合があります。GTECの成績を利用する場合は、証明書記載のCEFRレベルにかかわらず、4技能合計スコアに基づいて出願可否の判断および選考を行います。なお、オフィシャルスコアのみ利用可とし、検定版はCore, Basic, Advancedいずれも可とします。

※5 TEAPは異なる試験日のスコアを合算できません。

※6 ケンブリッジ英語検定4技能CBT（Linguaskill）は不可とします。

※7 自宅受験形式は不可とします。また、B1以上のスコアを持つ場合のみ出願可とします。

スコアの利用に際しては、下表に示す成績表を必ず提出してください。下表にないもの（Web上での結果通知画面のスクリーンショット等）は成績の証明として認められません。

検定試験名	成績表
実用英語技能検定（英検）*1	合格証明書・デジタル証明書*2 CSEスコア証明書または個人成績表のいずれか
TOEIC® L&RおよびS&W	Official Score Certificate
GTEC（検定版またはCBT）	Official Score Certificate
TEAP(R/L+W/S)*1	成績表
TEAP CBT*1	成績表
ケンブリッジ英語検定	合格証明書
TOEFL iBT®	① My TOEFL Homeからダウンロード（印刷）したTest Taker Score Report ② データ直送依頼が完了したことが分かる画面を印刷したもの*3
IELTS（アカデミック・モジュール）	Test Report Form*4

＜成績表の提出について＞

*1は成績ダウンロードシステムを使用するため、提出する証明書類の原本・コピーは問いません。そのほかの検定試験の証明書類は、原本または原本証明がなされたコピーのみ受け付けます。

試験実施団体のシステムに登録されている志願者の生年月日に誤りがある場合、大学側で成績のダウンロードができず、受験が認められない場合があります。正しい生年月日が登録されているか出願前に必ず確認してください。

生年月日の確認・訂正方法で不明な点がある場合は、試験実施団体（英検サービスセンター）に問い合わせてください。本学での対応はできません。

【生年月日の確認方法について】

「従来型英検」、「英検S-Interview」の成績を大学に提出予定の方は、「受験者用ログインサービス」から英検IDとパスワードでログインしていただき「個人情報の確認・変更」からご確認ください。

「英検 S-CBT」の成績を大学に提出予定の方は、個人成績表でご確認ください。

【生年月日の訂正方法について】

受験いただいた試験方式別に以下のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

※参考URL：<https://www.eiken.or.jp/eiken/nyushi/forstudents/faq.html>

*2はプレビュー画面をプリントアウトしたものの提出を受け付けます。

*3 TOEFL iBT®については、上記2点の書類を必ず提出してください。

1. TOEFLアカウント（My TOEFL Home）より、國學院大学のDIコード（G196）を選択し、スコアの直送手続きをしてください。

2. 出願期間までに本学にて確認できたもののみが有効となります。データ直送依頼は、早めに手配してください。なお、スコアが出願期間より前に到着した場合でも受理します。

*4 IELTS の Test Report Form について、テストセンターからの直送制度を利用する場合、送付先の機関名を Kokugakuin University、担当部署を Admissions Office とし、渋谷キャンパス宛に追跡番号付き郵便での送付を依頼してください。電子送信システムの利用は不可とします。

4. 入学試験日程

<一般型>

出願期間		
経済学部	文・神道文化・法・人間開発・観光まちづくり学部	
国内居住者： 令和8（2026）年9月1日（火）～9月7日（月）消印有効 国外居住者： 令和8（2026）年9月1日（火）～9月8日（火）必着	国内居住者： 令和8（2026）年10月9日（金）～10月15日（木）消印有効 国外居住者： 令和8（2026）年10月9日（金）～10月16日（金）必着	
選考日程		
経済学部	文・神道文化・法学部	人間開発・観光まちづくり学部
【第1次選考】書類選考	【試験日】11月29日（日） 試験会場：國學院大學 渋谷キャンパス	【第1次選考】書類選考 ※観光まちづくり学部のみ
【第2次選考】10月18日（日） 試験会場：國學院大學 渋谷キャンパス		【試験日】11月29日（日） ※観光まちづくり学部は 第2次選考として実施 試験会場：國學院大學横浜たま プラーザキャンパス
集合時刻：9：30 ※受験票と昼食を持参してください。		
合格発表日 ※12：00に公開		
経済学部	文・神道文化・法・人間開発学部	観光まちづくり学部
【第1次選考】9月24日（木）	12月9日（水）	【第1次選考】10月23日（金）
【第2次選考】11月2日（月）		【第2次選考】12月9日（水）
入学手続期間（消印有効）		
経済学部	文・神道文化・法・人間開発・観光まちづくり学部	
11月2日（月）～11月9日（月）	12月9日（水）～12月16日（水）	

※入学手続は期間内に学費等納付金を納入し、入学手続書類を大学宛に郵送（簡易書留・速達）することにより入学手続が完了します。

<日本大学連合学力試験（JPUE）利用型>

出願期間	
令和8年（2026年）10月9日（金）～10月16日（金） ※締切日必着	
入学検定料（35,000円）を納入し、必要書類を締切日必着で現地 JPUE 運営事務局へ提出してください。出願に必要な書類はP.17～19を参照してください。	
選考日程	
11月29日（日）	
オンラインによる面接を行います。詳細はP.15を参照してください。	
合格発表日	
12月9日（水）※12：00に公開	
入学手続期間（消印有効）	
12月9日（水）～12月16日（水）	
期間内に学費等納付金を納入し、入学手続書類を現地 JPUE 運営事務局に提出することにより入学手続が完了します。	

5. 受験から入学手続まで

(1) 受験に関する諸注意

①開門時刻	9:00～ ※試験教室には集合時刻（試験開始30分前）までに入室してください。入場後は、試験が終了するまで場外に出ることはできません。
②受 験 票	・出願された方全員に受験票を発送します。原則として、国内出願者には郵送、国外出願者（JPUE利用型を含む）にはメールで送付します。試験3日前（第1次選考を行う学部・学科については、第1次選考合格発表日の3日前）になっても受験票が届かない場合や、記載内容に誤りのある場合、また紛失や破損をしてしまった場合には、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。 ・本学のシステムでは、一部の異体字（高・崎・凜・遥・熙など）が対象外となるため、受験票・合格通知等に表記できない場合があります。表記できない漢字については、字体の異なる同字で置き換えられるか、カタカナで表記されますのでご了承ください。 ・試験当日は必ず<u>受験票を持参</u>し、案内掲示板にて自分の受験番号を確認のうえ、該当の試験教室に入室してください。 ・受験番号は合否通知に必要となりますので大切に保管してください。
③遅 刻	遅刻は一切認めません。指定された集合時刻に間に合わなかった場合、試験を受けることはできません。なお、事故等により交通機関に遅延が生じた場合でも、試験は原則として定刻通り実施します。
④試験時間中の注意事項	・時計は必ず持参してください。ただし、辞書・電卓・計算・通信端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、学習タイマー、大型のものは使用できません。また、試験時間中は携帯電話など電子機器類の電源を必ず切ってください。 ・試験時間中に机の上に置けるものは、「筆記具（HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可）」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）」「メガネ」です。これら以外の所持品を使用または置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。 ・「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型通信端末」「ICレコーダー」「スマートグラス」等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。 ・受験者は試験時間中に以下の物を使用することができます（ただし、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督者が確認する、または使用を認めないことがあります）。「座布団」「ひざかけ」「ティッシュペーパー」「目薬・点鼻薬」「シャープペンシルの替え芯」「ハンカチ・ハンドタオル」「マスク」 ※「ティッシュペーパー」は袋から、「シャープペンシルの替え芯」はケースから、中身のみを取り出したもののみ使用を認めます。 ※「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。 ・英語や地図、和歌や格言等が印字されている服の着用や所持品の使用はできません。 ・試験教室からの入退室は、試験監督の指示に従ってください。不正行為をした者・試験監督の注意や指示に従わない者には退室を命じ、以降の受験は一切認めません。
⑤感染症に関する注意事項	試験当日、学校保健安全法・学校保健安全法施行規則で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻疹・風疹等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。 また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理については十分注意してください。 ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めた際には、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として再試験などの措置や入学検定料の返還は行いません。

⑥そ の 他	・第2次選考は終日となるため、<u>昼食を持参</u>してください（観光まちづくり学部以外）。 ・上履きを持参する必要はありません。 ・試験教室の下見はできません。 ・試験会場へは公共の交通機関をご利用ください。自動車や自転車、バイク等での試験場構内への乗り入れはできません。 ・大規模災害等、不測の事態により、所定の日程通りに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期・再試験等の対応措置を取らざるを得ないことがあります。これらの対応措置を講ずる場合は、大学ホームページに掲載しますので、確認してください。（www.kokugakuin.ac.jp/admission）
--------	---

(2) 評価方法について

出願書類ならびに各学科が指定する選考方法を用いて、アドミッション・ポリシーに基づき、学力を構成する特に重要な以下の三つの要素を多面的・総合的に評価します。

- ①基礎的・基本的な知識・技能
- ②知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力
- ③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

(3) 合格発表・入学手続について

オンライン合否照会にて合否通知を行います。

オンライン合否照会には合格発表日の12:00からログインが可能になります。ログインには、受験番号と生年月日が必要となります。受験票に記載された9桁の受験番号と、生年月日を8桁の半角数字で入力してください。

オンライン合否照会アドレス

<https://exam-entry.52school.com/kokugakuin/result/rules>

※合否発表日以前は確認できません。



入学手続は、Web入学手続システムから行います。

入学手続画面の「入学手続きの手引」に掲載している「入学手続ガイダンス」「入学手続要項」の内容をよく確認し、手続を進めてください。

大学から入学手続書類・合格通知書等の送付はいたしません。なお、「誤操作」「見間違い」等を理由とした入学手続締め切り日を過ぎての入学手続は一切認めません。

Web入学手続システム

<https://exam-entry.52school.com/kokugakuin/enrollment/session/create>

※入学手続開始日以前は確認できません。



6. 選考方法

<一般型>

学部	提出書類 ※すべて出願時に提出	選考内容	
		第1次選考	第2次選考 ※経済・観光まちづくり学部は第1次選考合格者のみ
文	志望理由書（400～500字）	なし	日本語小論文試験（1,000字程度、90分） 面接試験（20分）
神道文化 人間開発	志望理由書（400～500字） 活動レポート（800字以内）		
法	活動レポート（800字以内）		
経済	エントリーシート 活動レポート（800字以内）	書類選考	総合問題試験（全体で1,000～1,500字程度、90分） 面接試験（20分）
観光まちづくり	志望理由書（700～800字） 活動レポート（800字以内） 日本語小論文（600～800字）		面接試験（20分）

※提出書類の詳細は、「8.書類について」で確認すること。

<日本大学連合学力試験（JPUE）利用型>

面接試験（1人約20分、オンライン会議システム「Zoom」を使用）

國學院大学の審査員と日本語による口頭試問および提出書類の審査による選考を行います。

※試験当日は、各国のJPUE事務局が指定する試験会場へ来場し、オンライン選考を受けていただきます。

なお、大学が事前に認めた場合を除き、自宅での受験は認められません。

7. 受験上の配慮について

身体等の障がいや病気・負傷により受験配慮を希望する者に対して、申請内容に基づき審査の上、症状や状態等に応じた受験上の配慮を行います。ただし、すべての希望に対応できるとは限りません。

また、許可された内容については入学後の配慮を確約するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

申請期限を過ぎての申請は受け付けることができませんので、必ず期間内に申請をお願いいたします。ただし、申請期限後に不慮の事故や急な発病により受験上の配慮が必要になった場合に限り、速やかに本学入学課までお問い合わせください。

【受験上の配慮事例】

区分	配慮事項
視覚障がい	点字文字冊子・解答用紙の配付/拡大問題冊子・解答用紙の配付/試験時間の延長/リーディングルーラーの使用/定規の使用（文章を読む際の補助具として）/拡大鏡の使用
聴覚障がい	注意事項等の文書による伝達/座席を前列に指定/補聴器または人工内耳の装用/開始と終了の合図/面接試験での文字化
肢体不自由	チェック解答/試験時間の延長/1階またはエレベーターが利用可能な試験室で受験/車椅子、杖の持参使用/多目的トイレの使用
病弱	別室受験/試験教室入口までの付添者の同伴/座席配慮/デジタル耳栓（通信機能なし）の使用/保護者が待機
発達障がい	別室受験/試験時間の延長/拡大問題冊子・解答用紙の配付/チェック解答/試験中の自己マッサージ/試験中のストレッチ
その他	薬の服用・インスリンポンプの使用・喘息用の小型吸入器の使用、またそれらの机上常備/イヤーマフの使用/耳栓の使用

※別室受験については、原則個室ではありません。

※申請方法：必要事項を大学ホームページ「受験上の配慮申請について（令和9年度入学試験受験者用）」より入力し、出願の30日前までに、入学課へ申請してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/p2/p6>



申請方法
(大学ホームページ)

8. 書類について

必要な書類をすべてそろえ、**速達・簡易書留**で入学課宛に送付してください。国内居住者は、本学所定の出願封筒用ラベルを必ず封筒に貼付してください。書類に不足のある場合は出願または入学が受け付けられませんので、注意してください。また、提出された書類の記載内容等に不正が認められた場合は、入学許可を取り消すことがあります。

※一度提出された書類は、原則として返還しません。

出願時に必要な書類		詳 細
①	入学志願票 【本学所定用紙】	「9. 入学志願票記入例・記入上の注意」(P.21～22)を参考に必要事項をすべて記入し、入学検定料(35,000円)を振込んでください。 ※日本国外から送金をする場合は、必ず控え(コピー可)を同封してください。
②	出願資格を証明する書類 (最終出身学校卒業証明書等)	出願前3カ月以内に発行されたものを提出してください。 ・最終学校の卒業(修了)証明書を提出してください(日本語・英語・中国語のみ可)。なお、出願時点で最終学校卒業見込みの者は、卒業(修了)見込証明書を提出してください。 ・自国の大学入学資格検定試験等に合格している者は、その合格証明書を提出してください。 ・自国の教育事情により学校教育の課程が12年に満たない者は、文部科学省が指定する準備教育課程等の修了(見込)証明書もあわせて提出してください。 ★日本語・英語・中国語以外の言語で記載されている場合は、元の言語から正しく翻訳されたことが大使館・総領事館・公証役場等の公的機関(日本語学校は除く)によって証明されている日本語または英語の訳文を添付し、提出してください。 ★原本(最終学校が発行し、証明した文書)を提出してください。原本を提出できない場合は、certified true copyを提出してください。 ※certified true copy 原本から正しく複製されたものであることを最終学校、大使館、領事館、公的役場等の公的機関が証明したもの。日本語学校は公的機関に含まれません。
③	身分を証明する書類	【全員】→ パスポートのコピー ①氏名②顔写真③生年月日④パスポート番号⑤サイン⑥有効期限が記載されているページを、A4サイズの用紙に拡大(140%)コピーして提出してください。 【国内居住者】→ 住民票 市区町村が発行する、国籍・在留資格・在留期間が記載された証明書を提出してください(出願前3カ月以内に発行されたもの、コピー不可)。 ※必ず国籍・在留資格・在留期間の3点を記載してもらうよう市区町村に申請してください。 【国外居住者】→ 旅券(パスポート) 入国後、入学試験の当日に入学課へ提示してください。

④	資格・スコアを証明する書類	各試験の出願要件に応じて、次の書類を提出してください。 <一般型> <u>文学部（日本文学科除く）・神道文化学部</u> 日本留学試験の受験票のコピー（氏名・顔写真・受験日・受験番号が判別できるもの）※日本語の得点230点以上。記述問題の得点は含まない。 <u>法学部</u> 以下の（1）～（3）のいずれかを提出してください。 （1）日本留学試験の受験票のコピー（氏名・顔写真・受験日・受験番号が判別できるもの）※日本語の得点230点以上。記述問題の得点は含まない。 （2）日本語能力試験の「可否結果通知書」または「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」のコピー ※令和7（2025）年度（7・12月）または令和8（2026）年度（7月）に取得したN2レベル以上のものに限り、 ※本要項最終ページの「委任状」もあわせて提出してください（次のページ⑪参照）。 （3）日本語能力評価試験もしくは駿台日本語能力試験（第87回から第91回）の「個人成績表」のコピー（スコア600以上） ※日本語能力評価試験協会に、「成績証明書（Official Score Report）」を本学まで直送するよう依頼してください。 発行には時間を要しますので、出願締切日に間に合うよう、余裕をもって準備してください。 【直送送付先】 東京都渋谷区東4-10-28 國學院大學総合企画部入学課 外国人留学生入試担当宛 ※直送方法は、駿台日本語能力試験のホームページで詳細を確認してください。 <u>経済学部</u> 以下の（1）と（2）を提出してください。 （1）外部英語検定試験（CEFR A2以上）の成績証明書（P.9～10参照） ※検定機関からの直送制度を利用する場合、時間を要しますので出願締切日に間に合うよう、余裕をもって準備してください。また出願書類送付時には、白紙に直送制度を申請している旨と申請日を記入して同封してください。 （2）資格・スコアを証明する書類【様式A】 <日本大学連合学力試験（JPUE）利用型> <u>経済学部・観光まちづくり学部</u> 以下の（1）と（2）を証明する書類（原本に限る）を提出してください。 （1）日本語コミュニケーション能力測定試験（JLCAT）の4技能スコアのうち、認識能力（「listening」「reading」の2技能）で「B2」以上を取得していること （2）日本語コミュニケーション能力測定試験（JLCAT）の4技能スコアのうち、「speaking」「writing」を受験していること
---	---------------	---

⑤	JPUE 留学前準備教育の修了を証明する書類 ※日本大学連合学力試験(JPUE)利用型のみ		JCAEMCE 事務局が実施する留学前準備教育を受講後、財団が発行する「日本留学前準備教育終了証」または「日本留学前準備教育(履修見込み)証明書」
⑥	履歴書 【様式1】	文 神道文化 法 経済 人間開発 観光まちづくり	所定用紙を使用し、「10. 履歴書記入例」(P.23)を参考に学歴・職歴・保護者・緊急連絡先等を記入してください。 ※緊急連絡先は受験生以外の方(可能な限り日本在住の方。いない場合は海外在住でも可)に限ります。
⑦	活動レポート 【様式2】	神道文化 法 経済 人間開発 観光まちづくり	学内外を問わず、過去3年間程度で主体的に取り組んだ活動を1つ選び、800字以内で記入してください(活動が団体によるものである場合は、本人の役割を明確にしてください)。
⑧	志望理由書 【様式3】	文 神道文化 人間開発 観光まちづくり	志願者本人が自筆にて記入してください。出願する学部での学修に対する目的意識と意欲を記入してください。 ※文・神道文化・人間開発学部：400～500字 ※観光まちづくり学部：700～800字
⑨	エントリーシート 【様式4】	経済	各項目について、簡潔に記入してください。なお、項目(1)(2)は、現在、高校、日本語学校などに通っている人は、そこでの経験の中から書いてください。そうでない人は、過去3年以内の自らの学習活動(過去3年以内に高校、日本語学校などに通っていた場合には、そこでの活動を含む)の中から書いてください。
⑩	日本語小論文 【様式5】	観光まちづくり	「オーバーツーリズム」について、あなたの生まれ育った国の状況を加味して、600字～800字で論述してください。 ※主要な参考文献を最大5件まで明示すること
⑪	委任状	法 対象者のみ	最終ページの「委任状」を印刷して、日付、委任者氏名、連絡先を自筆にて記入の上、必ず提出してください。

文学部(日本文学科)、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部の受験生は、入学手続き時に「資格・スコアを証明する書類」の提出が必要になります。詳細は「入学手続きに必要な書類」(P.20)をご確認ください。

[文学部（日本文学科）、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部]

※上記学部・学科の受験生は、入学手続き時に「資格・スコアを証明する書類」を提出してください。

入学手続き時に必要な書類	詳 細
資格・スコアを証明する書類	<一般型> <u>文学部日本文学科・人間開発学部</u> 日本留学試験の受験票のコピーを提出すること ※氏名・顔写真・受験日・受験番号が判別できるもの ※日本語の得点230点以上。記述問題の得点は含まない。 <u>経済学部</u> 以下①と②に従うこと ①以下のどちらかを提出すること ・日本留学試験の受験票のコピー ※日本語の得点230点以上。記述問題の得点は含まない。 ※氏名・顔写真・受験日・受験番号が判別できるもの ・日本語能力試験の「合否結果通知書」または「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」のコピー（N2以上）と、委任状（本要項の巻末にあり） ②日本留学試験の受験票のコピーを提出すること ※数学コース1または2を受験しているもの ※氏名・顔写真・受験日・受験番号が判別できるもの <u>観光まちづくり学部</u> 以下①と②に従うこと ①以下のどちらかを提出すること ・日本留学試験の受験票のコピー ※日本語の得点270点以上。記述問題の得点は含まない。 ※氏名・顔写真・受験日・受験番号が判別できるもの ・日本語能力試験の「合否結果通知書」または「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」のコピー（N1以上）と、「委任状（本要項の巻末にあり）」 ②以下のどちらかを提出すること ・英語検定試験（CEFR A2以上）の証明書と「資格・スコアを証明する書類【様式A】」 ・日本留学試験（数学コース1または2を受験しているもの）の受験票のコピー ※氏名・顔写真・受験日・受験番号が判別できるもの

9. 入学志願票記入例 ※写真票もこれにならって記入してください。

記入例は、経済学部で経済学科を選択した場合のものです。他の学部・学科を選択した場合もこれにならい、ボールペンを使用して各票の太枠内をもれなく記入してください。網かけされている欄は未記入のままで結構です。なお、提出後の変更は一切認められませんので、注意してください。

★入学志願票をすべて記入のうえ、入学検定料（35,000円）を振込み、出願してください。

★写真票には写真（縦4 cm×横3 cm）を必ず貼付してください。

★記入を間違えた場合は修正液（ホワイト）を使用しても問題ありません。ただし、入学検定料（振込金額）を訂正する場合は、二重線で消し、その上に銀行等の窓口で訂正印を押してもらい、欄外に正しい金額を記入してください。

★日本留学試験受験番号については、必ず左マス詰めで記入してください。

例）日本留学試験受験番号が「710106999999」の場合以下の記入例の通りになります。

國學院大學（総合型選抜・学校推薦型選抜）入学志願票

志願票

入試制度															
出願する試験制度の番号に○を付け、必要事項を記入してください。															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
スポーツ	セカンドキャリア	全商協会	神道・宗教	神職養成	神道学専攻科	社会人	学士	一般編入	院友子弟	外国人留学生	別科I類	別科II類	系列・協定校（推薦）	系列校（選抜推薦）	系列編入
志望コード コード		活動コード イ ロ ハ		出願方法 1 神道 2 宗教 (A) (B)		国籍コード		日本留学試験受験番号							
						0 0 1 7 1 * 0 1 0 6 *		9 9 9 9 9 9							
↓記入例に従って該当欄に記入してください（選択項目には該当する番号に○を付けてください）。															
志願データ															
受験番号 ※															
入試コード ※															
N 1 3 A															
系列三高校（選抜推薦）志願者のみの貼付 大学入学共通テスト成績請求票貼付欄 私・短 私立大学・公私立短期大学用 大学入学共通テスト受験票とともに交付された成績請求票を貼付してください。															
学部		経済				学科		経済				専攻 （専攻科・別科）			
氏名	フリガナ	リ				ヒ・ン・フ・エイ				性別	1 男	生年（西暦） 月 日			
	漢字	李				冰菲					2 女	2 0 0 0 1 1 0 4			
	【留学生用】 ローマ字	Li				Bingfei					自宅	0 4 5 - × × × - × × × ×			
											携帯	0 8 0 - × × × × - × × × ×			
志願者住所	〒	2 2 5 - 0 0 0 3				メールアドレス kokugakuin@×××.××									
		横浜市青葉区新石川3-22-1													
		神奈川 若木ヒルス 101													
履歴		出身高等学校等				高等学校等コード		課程		学科		卒業年（西暦） 月		入学検定料（振込金額）	
		大原第一中学（中高）				5 2 0 0 0 E		9 9		2 0 1 9 0 7		¥ 3 5 0 0 0			
		出身大学（短大）・学部・学科 卒業年（西暦） 月													

- ATMからの振り込みはできません。必ず銀行等金融機関の窓口で手続きを行ってください。
- 取扱店の収納印が無いものは無効です。

個人情報取り扱い確認欄

個人情報の取り扱いに関する「振込金兼手数料受取書（本人保存）」の記載を読み、同意しない場合のみ、✓を記入してください。

同意
しない
☐

収納印
①/4
入学検定料

2027

【記入上の注意】

- ① 日本留学試験を受験している場合は、受験番号を記入してください。
必ず、出願書類（P.17～19参照）として同封する受験票のコピーに記載されている受験番号と同じ番号を記入してください。
- ② 「国籍コード」・志願先の「入試コード」・「学部」・「学科」を記入してください。

国籍コード	
国 籍	コード
中国	001
韓国	002
台湾	003
マレーシア	004
アメリカ合衆国	005
タイ	006
インドネシア	007
香港	008
フィリピン	009
ブラジル	010
その他	999

学 部	学 科	入試コード
文	日本文	N11A
	中国文	N11E
	史	N11B
	哲	N11D
神道文化	神道文化	N14A
法	法律（法律専攻）	N12A
経済	経済	N13A
		N33A※
	経営	N13C
		N33C※
人間開発	健康体育	N15B
観光まちづくり	観光まちづくり	N16A
		N36A※

※JPUE型で出願される方は経済学科へ出願する場合はN33A、経営学科に出願する場合はN33C、観光まちづくり学科へ出願する場合はN36Aと記入してください。

- ③ 氏名は、漢字圏の方は漢字で、それ以外の方は母国語で記入してください。
- ④ フリガナは、発音に近い読み方で記入してください。なお、濁点（゛）・半濁点（゜）も1文字として記入してください。
- ⑤ ローマ字表記は、旅券（パスポート）に表記されているものを正確に記入してください。
- ⑥ 高校コードは「52000 E」、課程は「9」、学科は「9」と記入してください。
- ⑦ 生年月日・卒業年月は必ず西暦で記入し、月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を入れ、2桁で記入してください。
- ⑧ 電話番号（日中、連絡のとれるもの）の局番の間には「-」を入れて記入してください。
- ⑨ 住所は、アパート・マンション名（下宿先・表札名）まで正確に記入してください（丁目・番地・号は「-」で記入してください）。
- ⑩ メールアドレスは正確に記入してください。また、文字の判別がしやすいように適宜フリガナ等で補足してください。（例：アルファベットのO〈オー〉と数字の0〈ゼロ〉など）。
特に国外出願者については、原則としてメールで受験票を送付いたしますので、アドレスに誤りのないようご注意ください。
- ⑪ 入学検定料を国内から振り込む場合は、振込後、取扱店の収納印が押されていることを必ず確認してください。
入学検定料を海外送金する場合は、収納印は不要ですが、送金時の控えを必ず出願書類に同封してください。

10. 履歴書記入例

記入例は、経済学部を選択したのですが、他の学部・学科を選択した場合もこれにならい、記入してください。

また、記入漏れ等の不備がある場合は、出願を受付できない可能性もありますので、注意してください。

提出書類【様式1】

※太枠内の該当項目をすべて記入してください（鉛筆書き不可）。

履 歴 書				入試コード	N	1	3	A	
学 部	経済	フリガナ	リ ビンフェイ						
学 科	経済	氏 名	李 冰 菲						
		ローマ字 ※1	Li Bingfei						
		国 籍	中 国						
在留資格	留学・留学取得見込み		在留期間満了日	2027 年 3 月 2 日					
学 歴 (小学校以降)	学校名	所在地	在学期間			年数			
	上海市第一小学	上海（中国）	2004 年 9 月～2010 年 7 月			6 年			
	上海市大原第一中学（初中）	上海（中国）	2010 年 9 月～2013 年 7 月			3 年			
	上海市大原第一中学（中高）	上海（中国）	2013 年 9 月～2016 年 7 月			3 年			
			年 月～ 年 月			年			
日本語学校	横浜日本語学校		2020 年 4 月～2021 年 3 月			1 年			
			年 月～ 年 月			年			
職 歴	勤務先	所在地	在職期間			年数			
	上海機電有限公司	上海（中国）	2016 年 8 月～2019 年 7 月			3 年			
			年 月～ 年 月			年			
保護者 (本国の父母等)	フリガナ	リ リャン		続 柄	父				
	氏 名	李 良							
	住 所	中国上海市中山西路 1075-5			電 話	21-xxxx			
	勤務先	中国電子有限公司			(職業：会社員)				
	メールアドレス								
※2 本人以外の 緊急連絡先	フリガナ	ワカギ クサコ		続 柄	日本語学校教員				
	氏 名	若木 草子							
	電 話	045-904-7700							
	メールアドレス								
備 考									

※1 ローマ字氏名欄には、パスポートと同表記を記入してください。

※2 緊急連絡先には、確実に連絡が取れる方で受験生以外の方（可能な限り日本在住の方。いない場合は海外在住でも可）の連絡先を記入してください。

11. 入学検定料

入学検定料の振込について

入学検定料

35,000円

※出願開始日よりお振り込みください。

[国内居住者]

- ① 入学志願票に必要な事項をすべて記入した後、出願期限に間に合うように最寄りの銀行または信用金庫等（銀行等のATM・ゆうちょ銀行は利用できません）から本学が指定する銀行口座へ振込んでください。
 - ・振込依頼書は入学志願票と一連になっていますので、必要事項を記入のうえ、切り離さずに銀行等取扱店へ持参してください。
 - ・本学が指定する銀行（下記④参照）の各本支店から振込む際の手数料は不要ですが、その他の金融機関から振込む場合には本人負担となります。
- ② 振込終了後、「振込依頼書」は取扱店によって切り取られます。それ以外の収納印欄すべてに取扱店の収納印が押されていることを必ず確認してください。
- ③ 出願の際には「入学志願票・写真票」を切り離さずに、その他の出願書類とともに提出してください。「本人保存」は領収書ですので各自で保管してください。
- ④ 本学が指定する銀行口座は下記のとおりです。

み ず ほ 銀 行	渋谷中央支店	普通 No.1391131
三 菱 UFJ 銀 行	渋谷中央支店	普通 No.0128169
三 井 住 友 銀 行	渋谷支店	普通 No.8195674
り そ な 銀 行	渋谷支店	普通 No.0093868

※ご不明な点は、入学検定料を振込む前に、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

[国外居住者]

日本国外から送金する場合は、入学検定料（35,000円）を日本円または円建てで下記銀行口座宛に振込んでください（外国通貨および小切手による納入は認めません）。なお、振込手数料は本人負担となります。送金銀行・中継銀行・受取銀行でかかるすべての手数料を送金者（受験者本人）が支払う旨を、金融機関窓口で伝えてください。

本学に着金した入学検定料に不足があった場合、受験を認めないことがあります。
また、送金時の控え（コピー可）を必ず出願書類に同封してください。

みずほ銀行 渋谷中央支店 普通No.1391131 学校法人國學院大學
THE MIZUHO BANK LTD. SHIBUYACHUO-BRANCH
SAVINGS ACCOUNT No. 1391131
GAKKOU-HOUJIN KOKUGAKUINDAIGAKU
SWIFT コード MHCBJPJ T

[注意事項]

※一度提出した書類および入学検定料は、返還しませんので、ご注意ください。

12. 学費等納付金

学費等納付金について（令和8年度参考）

（単位：円）

	文学部	経済学部	法学部	神道文化学部	人間開発学部	観光まちづくり学部
入学金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
授業料	830,000	830,000	830,000	830,000	850,000	850,000
施設設備費	210,000	210,000	210,000	210,000	250,000	250,000
維持運営費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
諸費	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
初年度合計	1,315,300	1,315,300	1,315,300	1,315,300	1,375,300	1,375,300

前期分（入学手続時）	795,300	795,300	795,300	795,300	825,300	825,300
後期分（入学後）	520,000	520,000	520,000	520,000	550,000	550,000

- 備考 1. 入学後、履修する授業によっては、別途費用がかかる場合があります。
 2. 後期分以降の学費等納付金の納付につきましては、口座振替となります。詳細については入学後にご案内します。
 3. 上記は令和8年度学費等納付金です。令和9年度学費等納付金については変更となる場合があります。

本学では、私費外国人留学生への経済支援として、日本の在留資格（留学）を持ち、経済的に困窮していると認められた者に対して、当該年度授業料の3割を減免する制度を設けています。本制度を希望する方は、入学後所定期間に申請を行ってください（書類審査・面接等により選考）。

また、在留資格（留学）の外国人留学生を対象とする学内奨学金制度（給付）については、大学ホームページの奨学金案内ページをご確認ください。

【入学手続完了後の辞退について】

入学手続を完了した後にやむを得ない事由により、入学を辞退する場合、令和9（2027）年3月31日（水）17：00までに所定の申請手続を終えた方には、入学金を除く授業料等納付金を返還いたします。なお、詳細は『入学手続要項』に記載します。

13. 「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」等の法令に基づき、「國學院大學安全保障輸出管理に関する規程」を設け、技術の提供、貨物の輸出等の管理を徹底しています。このため、規制事項の対象となる学生については、希望する教育・研究内容の一部変更をお願いする場合がございます。

※上記詳細については、下記ウェブサイトをご参照ください。

〔経済産業省〕 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

14. 「子ども性暴力防止法」施行に伴う教育実習の制限について

「子ども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」が令和8（2026）年12月25日に施行されます。このことにともない、令和9（2027）年度入学者で、今後、教職課程を履修することを予定している方は、介護等体験や教育実習等の際にあらかじめ性犯罪事実確認を求められる場合があります。

性犯罪事実確認について

特定性犯罪（不同意わいせつ／児童買春／児童ポルノ所持／痴漢／盗撮／未成年淫行 等）※1と呼ばれる罪を犯し、以下の事項に該当していないか確認するものです。

- ・拘禁刑の執行が終わってから20年が経過していない者
- ・拘禁刑の執行猶予の判決が確定してから10年が経過していない者
- ・罰金刑の執行が終わってから10年が経過していない者

※1 成人に対する性犯罪を含む

事業者に求められる取組

1. 日頃から、子どもを性暴力から守る環境づくりを進めること。
2. 子どもと接する業務に就く人に、性犯罪前科の有無を確認すること。
3. 性暴力のおそれがある場合は、子どもと接する業務に就かせないようにすること。

教育実習に関する留意点

- ・実習計画において子どもと一対一になることが実習上予定されている、実習期間が相当長期にわたるなど、実習生が子どもに対して支配性、継続性及び閉鎖性を有する実習であると判断された場合、性犯罪前科の有無の確認が必要となる場合があります。なお、性犯罪前科の有無の確認が必要かについて最終的な判断は実習先の事業者が行います。
- ・性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合、実習生本人より子ども家庭庁へ戸籍等の提出が必要となります。
- ・性犯罪前科があると確認された者は、子どもと接する実習はできないこととなります。
- ・実習前に法の概要について理解した旨の同意書、性犯罪前科がない旨の誓約書の提出が求められます。
- ・性犯罪前科がある場合、実習を行うことができないため、免許・資格の取得ができなくなる可能性があります。

参考URL

子ども家庭庁掲載サイト <https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

15. 合格者対象オンラインイベントについて

國學院大學では、総合型選抜入学試験合格者を対象に「オンラインイベント」を実施いたします。下記の実施内容をご確認のうえ、参加いただきますようお願い申し上げます。

1. 実施日時：令和8年11月下旬（予定）
2. 参加方法：大学ホームページにて事前申込制（11月上旬頃より受付開始予定）

最新情報はこちらをご確認ください。



資格・スコアを証明する書類

※裏面に証明書を貼付（糊付け）してください。

入試コード	N				<大学使用欄>
学部					
学科					
氏名					
生年月日	年 月 日				
利用する 検定試験	該当するものに○を付けてください。 【英語検定試験】※2 ☐ 実用英語技能検定（英検） ☐ TOEIC®L&R および S&W ☐ GTEC(検定版またはCBT) ☐ TEAP (R/L+W/S) ☐ TEAP-CBT ☐ ケンブリッジ英語検定 ☐ TOEFL iBT®※1 ☐ IELTS (アカデミック・モジュール) (Test Taker Score Report) 【その他の検定試験】 試験名称() 試験名称()				
受験年度			受験回		
個人番号 または受験番号					

↑ 太枠内は、実用英語技能検定試験および TEAP 利用者のみ記入してください。

【提出する証明書について】

実用英語技能検定試験およびTEAP利用者：

成績ダウンロードシステムを使用するため、提出する証明書類の原本・コピーは問いません。

※1 TOEFL iBT® の利用者：

TOEFL iBT® については、下記2点の書類を必ず提出してください。

1. MyTOEFLHome からダウンロードした Test Taker Score Report を印刷して提出してください。
2. TOEFL アカウント (My TOEFL Home) より、國學院大學の DI コード (G196) を選択し、スコアの直送手続きが完了したことがわかる画面を印刷して提出してください。

この2点がそろっていない場合、受け付けることができません。

その他の検定試験利用者：

原本または原本証明がなされたコピーのみ受け付けます。

原本証明がなされたコピーの作成手順は以下の通りです。

- i. 在籍学校が証明書の原本であることを確認し、コピーをとる（カラー・白黒は問いません）。
- ii. 証明書のコピーの余白に、「原本と相違ないことを証明する」旨の文言を記載の上、在籍学校の印または学校長の印を押印する。
- iii. 在籍学校が厳封（調査書と同封可）する。

※2 この用紙は、経済学部志願者および、観光まちづくり学部で外部英語検定試験で資格・スコアを証明する合格者のみ提出してください。

※太枠内の該当項目をすべて記入してください（鉛筆書き不可）。

履 歴 書				入試コード	N		
学 部		フリガナ					
学 科 専 攻		氏 名					
		ローマ字 ※1					
		国 籍					
在留資格	留学・留学取得見込み		在留期間満了日	20	年	月	日
学 歴 (小学校以降)	学校名	所在地	在学期間			年数	
			年	月	～	年	月
			年	月	～	年	月
			年	月	～	年	月
			年	月	～	年	月
日本語学校			年	月	～	年	月
			年	月	～	年	月
職 歴	勤務先	所在地	在職期間			年数	
			年	月	～	年	月
			年	月	～	年	月
保護者 (本国の父母等)	フリガナ				続 柄		
	氏 名						
	住 所				電 話		
	勤務先	(職業：)					
	メールアドレス						
※2 本人以外の 緊急連絡先	フリガナ				続 柄		
	氏 名						
	電 話						
	メールアドレス						
備 考							

※1 ローマ字氏名欄には、パスポートと同表記を記入してください。

※2 緊急連絡先には、確実に連絡が取れる方で受験生以外の方（可能な限り日本在住の方。いない場合は海外在住でも可）の連絡先を記入してください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

活動レポート		入試 コード	N			
学 部		フリガナ 氏 名				
学 科 (専 攻)						

〔記入にあたっての注意事項〕

※学校内外問わず、過去3年間程度で主体的に取り組んだ活動の一つを選び、記入してください。
 ※資格・検定等の証明書類などの添付資料は不要とします。

主体的に取り組んだ活動について

例：課題研究、探究活動、部活動、学校行事、生徒会・委員会、ボランティア活動、各種コンクール、習い事、
 留学・海外経験、資格・検定取得に向けた活動、その他学びの経験、等

タイトル
 ※20字程度

100▲

200▲

300▲

400▲

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

500▲																			
600▲																			
700▲																			
800▲																			

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

志望理由書										入試 コード	N			
学 部					フリガナ									
学 科					氏 名									

100▲

200▲

300▲

400▲

500▲

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

600▲

700▲

800▲

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

エントリーシート			入試 コード	N			
学 科		フリガナ					
		氏 名					

(1) 過去3年以内の学習活動の中で印象に残ったことについて書いてください。

(2) (1) 以外に学習活動の中で身につけたアピールできること(資格・特技など)について書いてください。

(3) 本学を知ったきっかけを書いてください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

(4) 経済学部および学科を志望した理由を書いてください。

(5) 大学生活における目標と卒業後の進路について書いてください。

(6) (4)(5)を踏まえて、入学までに何をすべきか考えたことを書いてください。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

- (7) 経済・経営に関して、あなたの関心のあるトピックを自分の見解を含めて、800字程度で記述してください。
なお、参考文献、参考URLを1つ以上載せること。

200▲

400▲

600▲

800▲

1000▲

注
(参考文献)

この欄は、志望学科のページを確認し、必要に応じて記入すること。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

日 本 語 小 論 文				入 試 コード	N			
学 部	観光まちづくり	フリガナ						
学 科	観光まちづくり	氏 名						

100▲

200▲

300▲

400▲

500▲

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

600▲																			
700▲																			
800▲																			

注 (参考文献)	
-------------	--

委任状

私は次のものを代理人として定め、以下の事項を委任します。

代理人：國學院大學総合企画部入学課

委任する事項

- 日本語能力試験の成績照会
- 成績照会に関する個人情報の提供

令和 年 月 日

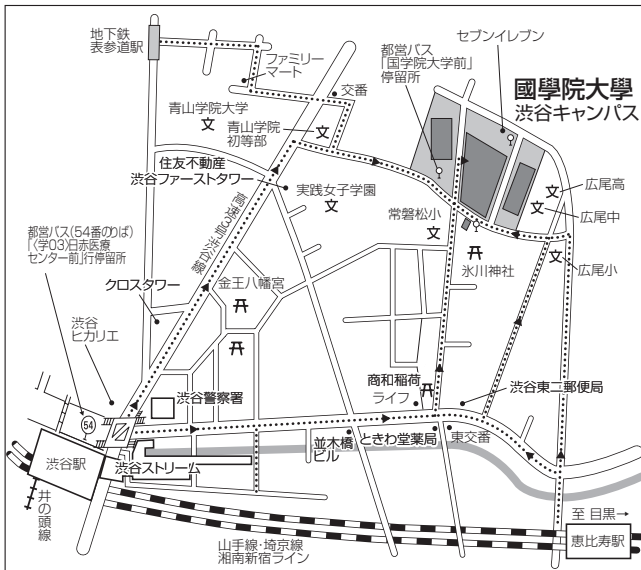
委任者氏名

連絡先

注意

- * 委任者は氏名を必ず自署すること。

渋谷キャンパス 〈文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・専攻科・別科のメインキャンパス〉



＜所在地＞〒150-8440

東京都渋谷区東四丁目10-28

＜交通機関＞渋谷駅東口方面出口より徒歩約13分、
または、
渋谷駅東口バスターミナル(54番のりば)
より
都営バス〈学03系統〉「日赤医療センター
前」行き「国学院大学前」下車

横浜たまプラーザキャンパス 〈人間開発学部・観光まちづくり学部のメインキャンパス〉

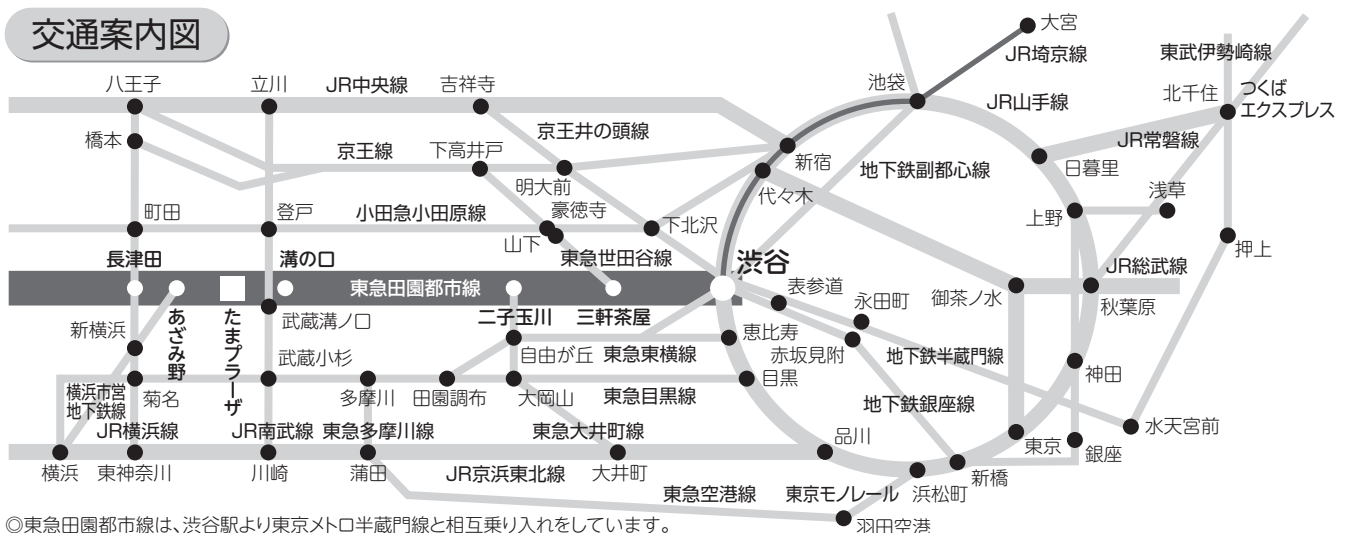


＜所在地＞〒225-0003

神奈川県横浜市青葉区新石川三丁目22-1

＜交通機関＞渋谷駅より東急田園都市線（長津田・中央林間方面行き）にて約25分
（東京メトロ半蔵門線相互乗り入れ）
たまプラーザ駅下車南口より徒歩約5分

交通案内図



◎東急田園都市線は、渋谷駅より東京メトロ半蔵門線と相互乗り入れをしています。

※本ページに記載されている情報は発行時のものです。変更される場合がありますので、ご自身で必ずご確認ください。

